

## 第1回葛巻病院整備検討委員会 会議録【要旨】

I. 日 時 平成24年9月18日(火) 午後3時30分～午後5時20分

II. 場 所 町総合センター2階 保健相談室

III. 出席者 16名

鈴木町長、委員：觸澤副町長、佐々木崇（岩手県立中央病院名誉院長）、土屋陽子（岩手県立大学看護学部教授）、西島康之（町健康づくり推進協議会長）、遠藤憲正（葛巻医歯会）、辰柳敬一（町社会福祉協議会長）、野中詣一（葛巻病院経営審議委員長）、吉澤春雄（町自治会連合会長）、下道アイ子（町保健委員協議会長）、澤口素子（母親：町PTA連合会）、松原和江（母親：葛巻保育園父母の会）

欠席：熊谷泰樹（県医療局経営管理課総括課長）、菊池潤考（県央保健所医療介護課長）

事務局：鳩岡葛巻病院事務局長、丹内政策秘書課長、大久保主任主査、本宮主任主事

### IV. 会議内容

#### 1 開 会

#### 2 委嘱状交付

鈴木町長から委員を代表し、佐々木崇岩手県立中央病院名誉委員長に委嘱状の交付を行った。

#### 3 町長挨拶

ただ今は委嘱状の交付を佐々木先生に交付をさせていただきました。皆様方には本日お集まりいただき、日々お忙しい方々ばかりではありますが、このようにご出席いただき、そして今回の大変重い葛巻病院整備検討委員会の委員にご快諾いただきましたことに、まずもって深く感謝を申し上げる次第であります。ありがとうございました。

葛巻病院建設につきましては、町長としての2期目の大きな事業でありますし、それからまた、町民の皆様との約束でもあり、多くの町民が大きな期待をいたしているところでもあります。

今回の病院の新築に対しては、皆様方からいろんなご意見を頂戴したい、そんなふうに思い、それからまた全町民が新しい病院ができることに皆が夢を持ちながら町全体の一体感につながっていけばなおいい、そんなふうに思っておるものでございます。

そういったことから先般、新病院の建設に対して、全戸にアンケート用紙を配布いたしまして、いろんな要望、ご意見を頂戴することにしたものであります。いろんなご意見頂戴しておりまして、それらを参考にしながら、一つずつ解決して参りたい、こんなふうに考えているところでもあります。

町役場の中には、副町長を中心とする幹部職員の委員会を立ち上げておりますし、病院の現場におきましては、現場内部としての議論をしてもらうことになっております。今日の委員会は、その中でも最も重い決断、議論、協議をいただく委員会である、このように位置づけをいたしているところでもあります。

新しい病院の完成は、2年間ぐらいで完成をしたいというふうに思っているわけですが、今後50年くらい使う施設になるものでありますので、いい病院を皆様のご意見を頂戴しながらつくって参りたい、建設して参りたいと思っております。皆様

方は、豊富な知識を持っておられる方々ばかりであります。いろんな角度から忌憚のないご意見を頂戴して、新しい病院の建設に反映させて参りたいと考えております。この先長期にわたって、皆様方には大変なご労苦をおかけすると思っておりますが、よろしくどうぞお願いを申し上げます。簡単ではありますが、開会に当たって一言挨拶に代えさせていただきます。よろしくどうぞお願い申し上げます。

## 5 委員長・副委員長選任

委員紹介後、委員長・副委員長の選任を行った。選任方法については事務局一任となったことから、委員長に佐々木崇さん、副委員長に遠藤憲正さんを提案。満場一致で選任された。

### ○ 委員長挨拶

葛巻町は、いろんな施策をやりながら、あるいはいろんな事業を興しながらやっ  
てるな、それがずっと続けてこられたなと思いますし、それが評価されてきたもの  
でありますから、ここで今度は病院をつくるということになりますと、どういう病  
院ができてくるんだと、それがどういうふうに町民に還元されていくんだというこ  
とが、何年か後にはしっかりと評価を受けることになると思うんですね。したが  
いまして、今こうしてこの場に改めておりますと、大変なことになったなと。ぜひ皆  
さんのご協力をいただきながら、すばらしい病院ができればいいなと願っています。  
よろしくお願いたします。

## 6 葛巻病院整備基本構想策定の諮問

町長から佐々木委員長に対し、葛巻病院整備基本構想の策定について諮問を行った。

## 7 議事《要旨》

### (1) 「葛巻病院整備検討委員会設置要綱」並びに「葛巻病院整備事業の推進に係る取組状況について」

委員長：最終的には予算に計上されていると思いますけれども、これは町議会として病院を建てるといようなことなのか、あるいは町としてやるから了解してくれということで今後進めていくかたちになるものなのですか。

事務局：議会との関係につきましては、端的には建設するかどうかというときには町長の決定事項でございますので、町長の判断ということになります。ただ、その前提となります補正予算等がございますので、そういったものを町長が判断することを議会で十分ご理解いただき進めて行くシステムがございます。そういった意味で例えば、第一候補地、その前提となったアンケート等をご説明しておりますし、本日ですけれども、事前調査に必要な費用、例えばボーリング調査費とかの予算を議決いただいたところであります。

委員長：議決の内容に関しましてはこういった格好で進めると、それでどの辺で建設が始まって、どの辺で…、ということも議会で了解して進めているのでしょうか。

事務局：全員協議会で大まかなスケジュールはお知らせしてございます。とは言いましても、例えば用地等について私有地も入りますので、その部分について、

地権者のご協力を仰がなければならないというような前提でございます。

副町長：議会との関係ということでございますが、これまでの経緯を若干話させていただきますが、まず、町の公共施設が昭和40年代、47、48年から、今お話あります葛巻病院あるいは養護老人ホーム葛葉荘、さらには役場、それから総合センターなど、大規模な施設等が当時整備されてきた経緯がございます。そういう中で、約40年近く経過し老朽化も著しい部分等も以前からお話がありまして、その対策として、それらをスムーズに改築等を進めようということの中で4年前、公共施設整備基金を創設しています。その中で特に葛巻病院の改築につきましては、設備等の老朽化も著しいということもございまして、議会の中でもいろいろ議論しながら、その裏付けとなる基金というものも創設して、今17億程積み立てました。町長は第2期目、町民の生活の中での不安を一つ一つ解消しながら、町民が安心して生活できるまちづくりを掲げながら進めているところでありますが、その一つとして葛巻病院の改築をしっかりと議会の方に説明しながら、裏付けとなる財源の確保にも努めて参りました。今年度、その推進体制として政策秘書課を設けてまして、ここを建設する一つの窓口として設置しながら進めてきたところであります。そして、24年度の町長の施政方針の中で病院建設に関する考え方をしっかり示して、町民の意向を踏まえながら、今、こういう状況になっていきますというのを付け加えさせていただきます。

委員：この整備委員会に与えられたことはなにか。病院内、プロジェクトチームとのそれぞれの関わりで、我が検討委員会は、基本構想が基本になって言及していけばいいか、その役割は。基本的には事務局で提案の基本構想を検討していけばいいのか。もう少し役割を具体的に説明いただければと思います。

事務局：本委員会につきましては、基本構想の策定が主となります。素案を事務局からお示ししまして、皆様からのご意見を頂戴し形作っていくということで考えています。

委員長：具体的に病院をどこにつくるか、どのくらいの規模にするか、将来も見据えながらここである程度考えたいというのが具体的な作業ということで考えていることですね。

## (2) 住民アンケート調査結果について

委員：このアンケートも非常に大事なものですけれども、今後のスケジュールで、葛巻病院の基本理念と基本方針、葛巻病院の役割が一番大事だと思う。アンケートを全般的に見ると、これに全部葛巻町が応えるには県立中央病院や岩手医大の規模でなければできないわけです。地域医療というものは医師会だけで達成できるものではない。地域行政を中心とした地域福祉団体、民生委員、関係団体の積極的な連携がなければできない。

委員長：第2回のところで、葛巻病院を取り巻く環境とあります。葛巻全体の医療シーンですね。全体像の中での役割として、例えばどれだけの福祉の関係の方が働いているとか、分かる範囲で全体像を捉え、病院が本当に何をすればいいか、

病院の役割としては何なのか、病院の規模とか、患者の動向なども経営状況にも関係すると思います。人口もある程度制約される中でやはり規模が関係してくると思いますので、そういうのも資料としてあればと思います。それから、基本理念、基本方針についてもより明確になると思います。

委員：これまでにまとめられた医療福祉関係の統計資料とか報告書とかございましたら、ぜひ拝見させていただきたい。送っていただければありがたい。

事務局：対応いたします。

委員：アンケートの結果が葛巻町で60数パーセント回答があったということは、すごいことだと思います。今後町が存続できるのは、病院を維持できるかどうか、これにかかっていると言っても過言ではない。公共事業の最優先として病院を選んだというのも、町長さんがきちっとご理解なさっていて、病院をつくるんだということをお聴きした際は本当に夢かと思いました。葛巻町はなくならないんだなど。人口統計からすれば、最盛期の半分の人口になって過疎化はどんどん進み、高齢化率も40%、そのうち半分はひとり暮らし老人が占めるというのが葛巻町の現況なんですね。何とかこの葛巻病院で亡くなりたくないという人も多く聞いております。町長さんは50年使える病院とおっしゃいましたけれども、まず30年ぐらいいをスパンとして考えて、どういう内容を考えていけるか。アンケートの内容からすれば、中央病院とか医大でしか実現できないような要望全部ということではできないだろう。ではその中でどこまで最低限取り組んで、葛巻では安心して死ぬという病院にさせていただきたいと考えました。将来の動向資料をぜひ拝見したいですし、簡単に引き受けたけれども大変な委員を引き受けてしまったなど今でも思っていますけれども、自分なりに皆さんに聞きながら、現実可能な病院をつくっていくため、みんなで知恵を出し合っていきたいと思います。

委員：アンケート調査の中には人工透析があるんですが、実際には透析だけでなくその他の病気も抱えていることなので、簡単に考えると葛巻病院にあればと思うんですが、実際にはこの辺からよく盛岡の病院に行っている。アンケートはアンケートとして、一番はいつでもかかれる病院があるということがまずは安心のはじまりかなと思います。先日も長寿を祝う会がありましたが、80名くらいの方が88歳になられた。大変長生きで元気な年寄りが増えておりますので、安心してかかれる場所をつくっていただければと思います。

委員：アンケート調査の結果を詳細に説明していただいたわけですが、現在の葛巻病院の現状をよく詳細に、しかも率直にご意見を出していただいたものだなと。私も患者として最近歳と共に葛巻病院を利用する機会が多くなっている。これにどう我々が応えて、今後の葛巻病院建設をつくりあげていくかというのが大きいのではないかなと、ひしひしと改めて感じさせられている。なんと言っても今の病院は老朽化しているし狭いし、駐車場もそうですし、今後何を診療科目にしていくかも重要な要素であろうと思います。医師会との整合性をどうもっていくか、委員会がどう今後答えを出していくかと感じています。なんと言っても高齢化がどんどん進む中、元気な年寄りが増え、認知症の関係で正常な生活ができないということが並行して出てくるわけですから、医療機関としての役割をどこに位置

づけていくのか等も我々委員会に課せられた課題であります。委員の皆様からの積極的にご意見を出していただき、理想とする住民が望む病院を作り上げていく必要があると改めて思いました。

委員：私は昭和60年に葛巻にきたんですけれども、そのときのイメージは、すごく立派な病院だというのが今もそのままあって、素人目にはもうそんな老朽化しているのかなという思いです。整備検討委員会の委員に任命されたんですけれども、重い責任のある仕事だなと思っています。

委員：高齢化の中で町民の方ができるだけ健康的に最後まで町の中で暮らしていけるという、そういう町をつくるには病院の整備というのは本当に欠くことができなくて、今までと同じような病院ではだめで、超高齢化の中でどういう病院にしていくかという、本当に重要だなあと思っていますので、ぜひ一緒に考えさせていただけたらと思っています。特にアンケートにありました訪問看護とか、訪問診療、在宅医療、それに外来の看護もぜひ充実させていただきたいです。相談業務、看護や保健師の相談、それから例えば訪問リハビリテーション、外来部門のリハビリテーション、そういうのが住民の方の生活を支えるのに大きな役割を担えると思いますので、ぜひ一緒に考えていきたいと思っています。

委員：先程来すばらしいお話を聞かせていただきましたが、残念なことに葛巻町は現在、自殺率でワーストワンです。現在6名の人数になります。去年は5名。その中で、病気を苦にして亡くなられるというのが結構多いです。新しい病院の中で、一人でも自殺者を減らす体制をつくっていただきたいと思っています。

委員：私は患者の立場からアンケートにいっぱい書きました。みんな載っているんですが、みんな叶わなくてもいいんですが、やっぱり車椅子が通れる空間の広い、ゆったりとした病院ができればと思っています。

委員：全部は全部、無理だと思うので、町民の人が納得するような病院をつくってほしいなと思います。

### (3) 今後のスケジュールについて

委員長：2回以降ですね、特に第2回、第3回、この会の基本になるような気がします。委員会としては1時間半くらいを目途に進めたいと思ってますね、なかなか大変なこともありそうなので、なるべく資料を早めにお渡ししたいと思っています。第2回目はいろんな思いからいろんな意見が出てもおかしくないと思います。

副町長：今日は第1回目ということで、町民からの貴重な細部にわたっての意見・要望、これらについても皆さんに提示しながら、今回は詳しく説明させていただきました。その中で、委員の皆さんから貴重なご意見をいただきましたが、葛巻病院が目指す役割、構想づくりには大事なことであると考えております。この件につきましては、これまで総務省の方で公立病院の改革ガイドラインという形の中で、全国の公立病院すべてに改革の方針を策定して改善改革を図っていくとい

う観点の中で、20年度から進めてきた経緯もございます。葛巻病院の果たす役割を皆さんからもさらにご意見等をいただきながら、新築する病院に対してのしっかりとした位置づけ、方向付けをしていただきたいと考えております。皆さんからは、葛巻病院の目指す役割あるいはあり方をさらに深めていただき、特にも中身の問題だということがアンケートの中にもしっかりと意見が出せており、正にその通りと思っておりますので、一層皆様方からも意見もお伺いしながら、10年、20年、30年先の葛巻病院のあり方をしっかりと持ちながらの病院建設というのを考えておりますので、よろしくどうぞお願いを申し上げます。次回からは資料も早めに届け、目を通していただきながら、時間的に限られた時間の中でも議論していただけるように、こちらもしっかりと進めていきますので、よろしくお願い申し上げます。

委員：病院の基本理念がきちっと定まっていなければならないと思いますが、葛巻病院は理念を書いたものは今あるんですか。

事務局：あります。改革プランの中では、役割を整理した部分もあります。ここも含めて、新しい病院の中で検討していただければと思います。

委員長：病院機能強化というのがありまして、それをクリアするには400、500近い項目があります。説明責任ということもありますけれども、基本的にクリアしていかなければならないなど。新しい建物を建てる時には、設計者なりがこれは必要だよということは全部分かっていることだとは思いますが、一つ一つ事業評価のチェック項目をもう一度見直せば、病院として求められるのは最低限これだよとなるかなと思っています。

委員：葛巻病院の理念に基づいて基本構想を策定するものであるというふうに結びつけていけば町民にもアピールできるし、我々委員も再確認できる。いい基本構想も整備されるのではないかと思う。

副町長：今お話しいただきましたように、病院の理念、方針、そういうものについては今回、これまでの経緯についてということで第1回目はこういうかたちになりました。今お話しいただきました件につきましては、当然葛巻病院の経営あるいは今後の基本理念とか基本方針等を踏まえたものを含めて素案的に提案させていただきます。その中でさらにご意見をいただくという進め方をさせていただきます。今回第1回目ということで分かりにくかったようなかたちではありますが、次回、早めに皆さんのところに提案させていただき、その中で今後の新しい病院に対する基本方針といえますか、提言を議論していただく進め方になるものです。

委員長：具体的に病院の基本方針と行動指針がはっきりしてくれば、どういう病院をつくるんだということの裏返しにもなりますので、我々としても話が進めやすいと思います。

## 8 閉 会